NEWS1

独自プロジェクト第１号　くりもとミレニアムシティ　第１期完成へ

姿を現した理念の結晶

　ミレニアムシティが自力建設を進めてきたくりもとミレニアムシティが、いよいよ姿を現しました。この施設は、小さいながらもミレニアムシティの５つのコンセプトがすべて含まれている、まさしくミレニアムシティを象徴する施設となります。

●パラダイムシフト……これまでの建築、都市、農業の考え方を根本的に変える施設となっています。

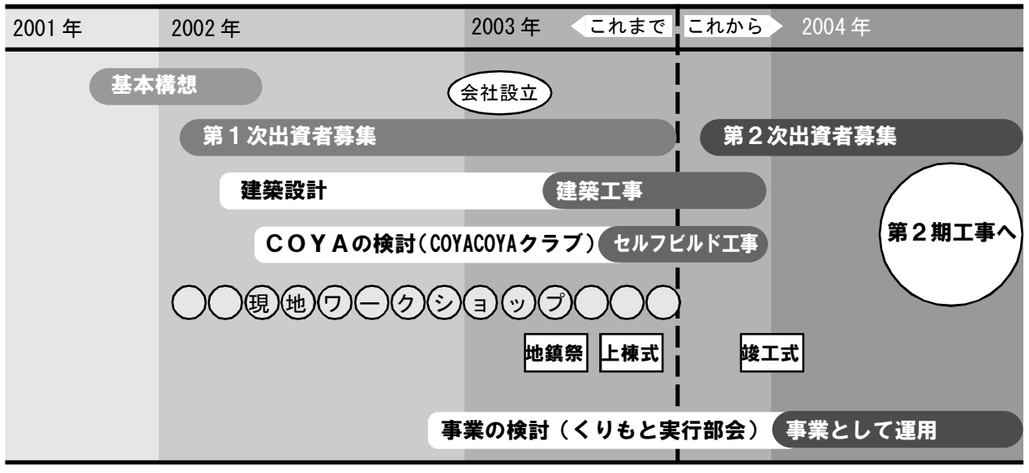
●セルフビルド……行政の補助金などに頼らず、市民からの出資だけで建設し、施設の一部は参加者が手づくりで建設しています。

●環境共生と環境蘇生……効率を追い求め専用化されてきた都市、農地、森林を、相互に融合させて（都市＝農地＝森林）、持続可能な社会を実現します。
そのミニチュアモデルとして、農地の中に建物（＝都市）を建て、その廻りには伐採されることになっていた森林を移植します。
森林の移植が環境の蘇生につながり、温室と落葉高木の組み合わせが環境共生となります。

●コネクトハウジング……ガラスの温室でできた共用部分に最低限の専用部分としてのＣＯＹＡをつくり（コレクティブハウス）、それを共同で建設する（コーポラティブハウス）施設です。

●ネットワーク都市……当面は屋内型クラインガルテン（市民農園）として使いはじめるこの施設は、都会と結ばれた施設となります。この施設が契機となって、各地にミレニアムシティができあがると、いよいよネットワーク都市が姿を現します。

くりもとミレニアムシティのこれまでとこれから

　くりもとミレニアムシティのアイデアは、2001年11月に生まれました。そのアイデアをもとに事業を組み立て、出資者を募りはじめたのが2002年２月。予定の出資者が集まったところで、2003年にはくりもとミレニアムシティ有限会社を設立して、本格的に事業に着手しました。4月19日には地鎮祭、7月20日には上棟式を行いました。工事は12月末の完成をめざして、セルフビルド工事も行いながら進められています。

　工事と並行して、施設を使っての農業をベースとしたさまざまな事業の検討を行い、その実施に向けての準備も進められています。2004年からは事業としての運用も始まる予定です。